

(案)

新国立競技場基本構想国際デザイン競技
(第1回) 審査委員会資料

平成24年8月
(持ち回り開催)

独立行政法人日本スポーツ振興センター

(案)
新国立競技場基本構想国際デザイン競技
(第1回) 審査委員会 議事次第

1. 日 時 平成24年8月(持ち回り開催)

2. 議 事

議事1: 審査の進め方について

議事2: 質疑応答について

<資料>

資料1 審査のスケジュール(案)

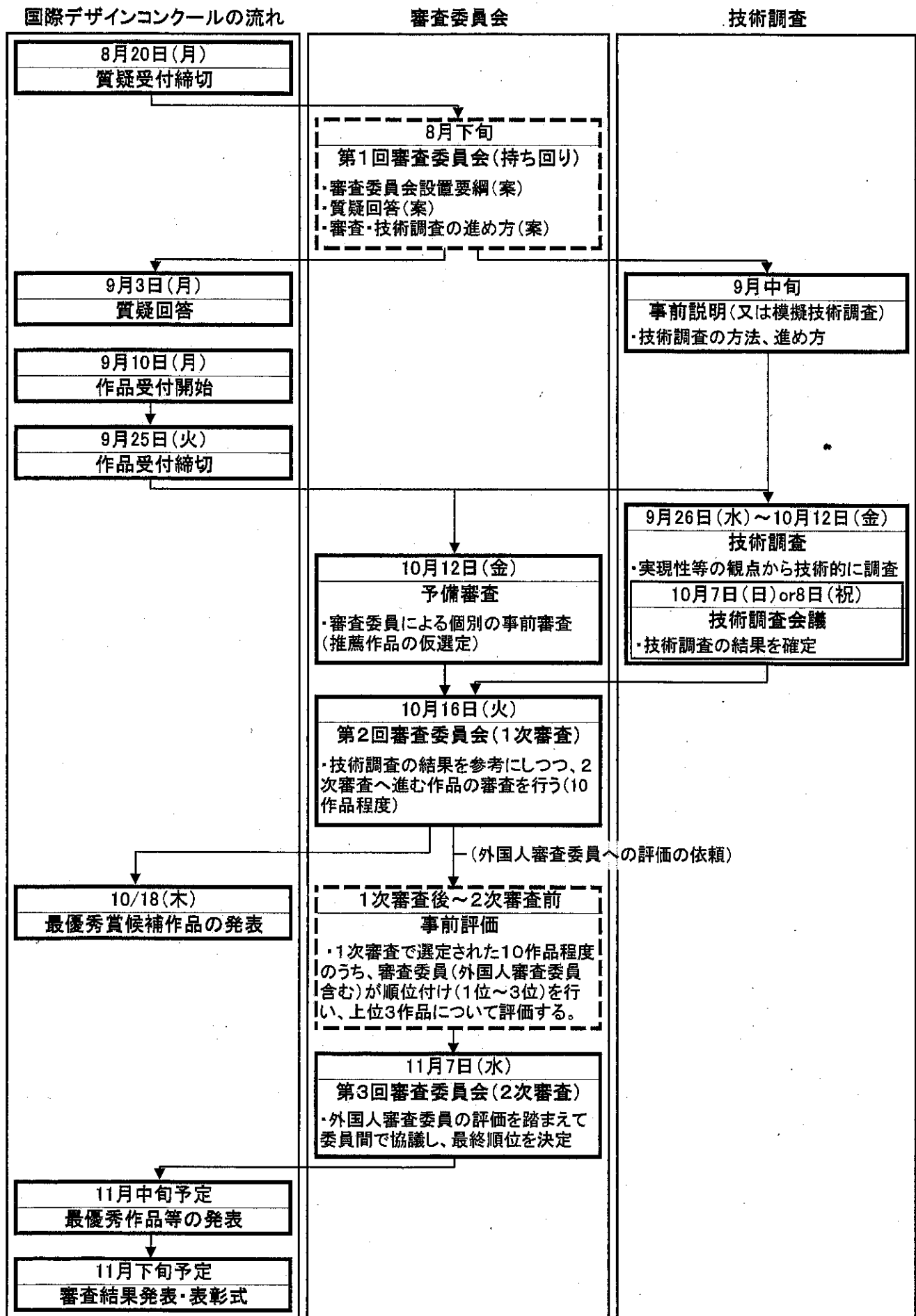
資料2 技術調査の進め方等について(案)

資料3 1次審査、2次審査の進め方(案)

資料4 質疑応答(案)

参考資料 新国立競技場基本構想国際デザイン競技審査委員会設置要綱(案)

新国立競技場国際デザイン競技 審査のスケジュール(案)



技術調査の進め方等について（案）

1. 技術調査の目的

一次審査を行うに当たって、1) 作品の実現性、2) 募集要項に規定している与条件及び法令等の充足状況について技術的な確認を行う。

2. 技術調査の方法**(1) 調査事項**

- ・技術調査では以下の事項について確認を行う。【別紙1「技術調査の確認リスト」参照】
 - 1) 応募者が提出する図書「4. テーマ別の計画提案」に示した①～⑥の項目のうち技術的な確認が必要な事項
 - 2) 募集要項「Ⅱ. デザイン提案条件」及び法令等に規定している事項

(2) 調査方法

- ・応募者が提出する図書のうち「2. デザイン説明」及び「3. 施設建築計画・概略設計」については全ての技術調査員が確認を行う。
- ・「テーマ別の計画提案」については、各技術調査員が専門性に即した確認事項を中心に技術的な確認を行う。【別紙2「技術調査員と確認事項の対応関係」参照】
- ・技術調査員は実現性等の確認の結果を「○・△・×」で整理する。

{	○：実現可能
	△：設計段階で重大な調整が必要
	×：明らかに実現不可能

3. 技術調査の進め方

- ・技術調査員が個別に確認し、「○・△・×」を付す。（詳しい確認が必要な事項は事前又は事後に事務局が対応）
- ・「×」を付した項目については、技術調査会議にて専門アドバイザーを含めて技術調査員全体で協議し「○・△・×」を決定する。
- ・「○」または「△」を付した項目についても、複数の観点から検討が必要な項目については、技術調査会議にて協議する。

【参考】応募者が提出する図書（募集要項）

1. パース（A3版4枚）
2. デザイン説明（A1版1枚）：パース毎にコンセプト説明
3. 施設建築計画・概略設計（A1版1枚）：計画設計主旨、配置図、各階平面図・断面図、アクセス図
4. テーマ別の計画提案
 - ①臨場感あふれる観覧席に関する考え方
 - ②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方
 - ③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方
 - ④環境配慮に関する考え方（省エネ、エネルギー多重化及び緑化等）
 - ⑤構造計画、屋根の架構及び開閉機構に関する考え方
 - ⑥事業費（建物本体／外構部分）及び工期に関する考え方

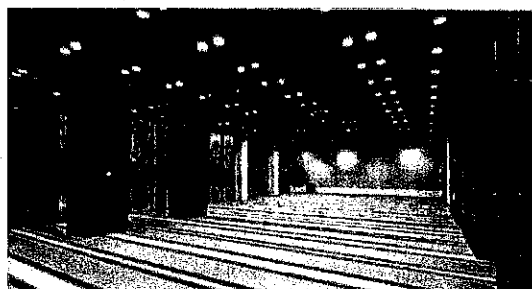
(参考)

新国立競技場基本構想公開デザイン競技 技術調査の実施について

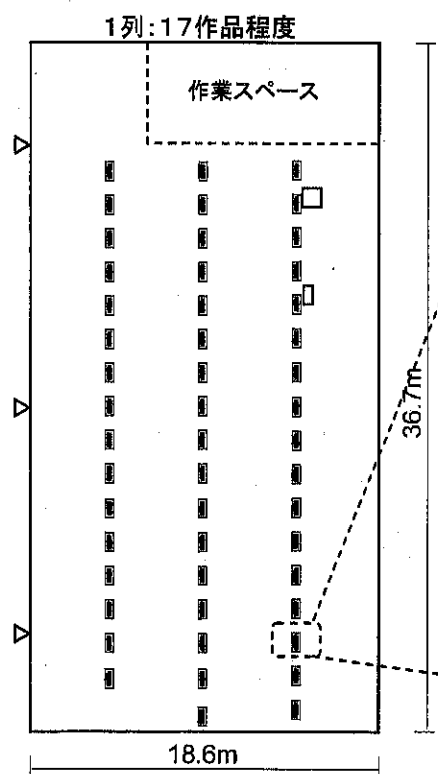
日時：9月26日～10月12日 9:00～17:00

※予備審査と並行して実施

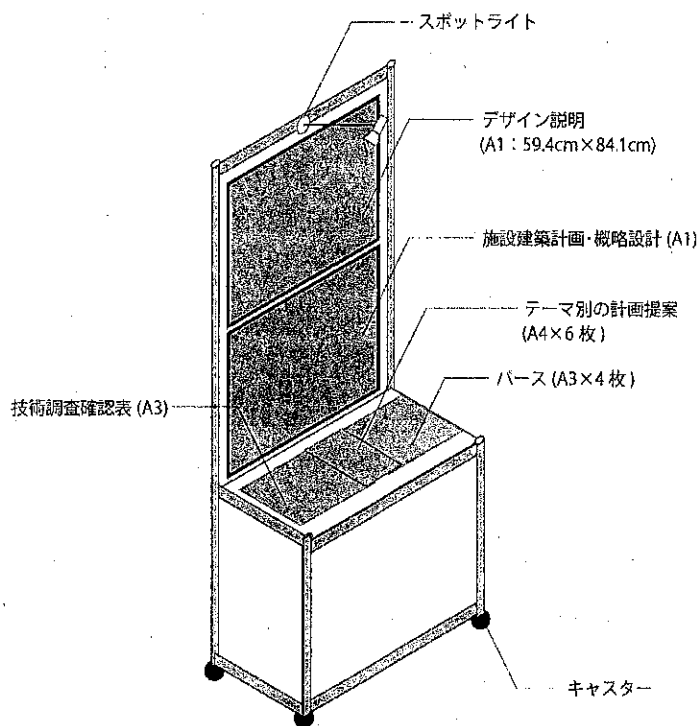
場所：ベルサール渋谷ガーデン



◆会場内の配置イメージ (50作品を想定)



＜作品の展示イメージ＞



高さ: 2150mm × 巾: 1030mm × 奥行: 535mm
(展示台の高さ: 800mm)

技術調査の実施体制

1. 専門アドバイザー・総括管理

- (1) 氏名 和田 章
- (2) 所属・役職 東京工業大学 名誉教授
日本建築学会会長

2. 建築（構造）分野

- (1) 氏名 三井 和男
- (2) 所属・役職 日本大学生産工学部 教授

3. 建築設備（メカニカル）分野

- (1) 氏名 藤田 聡
- (2) 所属・役職 東京電機大学工学部 教授

4. 建築設備（空調）分野

- (1) 氏名 川瀬 貴晴
- (2) 所属・役職 千葉大学大学院工学研究科 教授
建築設備技術者協会 会長

5. 建築設備（音響）分野

- (1) 氏名 坂本 慎一
- (2) 所属・役職 東京大学生産技術研究所 准教授

6. 施工・品質分野

- (1) 氏名 野口 貴文
- (2) 所属・役職 東京大学工学系研究科建築学専攻 准教授

7. 都市計画分野

- (1) 氏名 関口 太一
- (2) 所属・役職 (株)都市計画設計研究所 代表取締役
- (3) 実績等 [REDACTED]

8. 積算分野

- (1) 氏名 木本 健二
- (2) 所属・役職 芝浦工業大学工学部建築土木学群建築工学科 教授

9. 事業計画分野

- (1) 氏名 東 一洋
- (2) 所属・役職 (株)日本総合研究所 都市・地域経営戦略グループ シニアマネージャー
- (3) 実績等 [REDACTED]

10. 建築法規（防災計画）分野

- (1) 氏名 河野 守
- (2) 所属・役職 東京理科大学工学部第二部建築学科 教授

技術調査員と確認事項の対応関係

技術調査員(専門分野)	担当する確認事項と観点
1)「テーマ別の計画提案」に示した項目のうち技術的な確認が必要な事項	
総括	
	「⑤構造計画、屋根の架構及び開閉機構に関する考え方」のうち構造計画に関すること
	「①臨場感あふれる観覧席に関する考え方」のうち可動客席等に関すること
	「⑤構造計画、屋根の架構及び開閉機構に関する考え方」のうち屋根の開閉機構に関すること
	「④環境配慮に関する考え方(省エネ、エネルギー多重化及び緑化等)」のうち省エネ技術に関すること
	「③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方」のうち音響環境に関すること
	「⑥事業費(建物本体/外構部分)及び工期に関する考え方」のうち工期に関すること
	「②観客等の周辺駅からスタジアムへのアクセス及び入退場動線処理に関する考え方」のうちアクセス及び入退場動線処理に関すること
	「⑥事業費(建物本体/外構部分)及び工期に関する考え方」のうち事業費に関すること
	「③ホスピタリティ機能及びスポーツ以外のスタジアムの利活用に関する考え方」のうちホスピタリティ機能等、スタジアムの事業計画に関すること
2)募集要項「Ⅱ. デザイン提案条件」及び法令等に規定している事項	
募集要項「Ⅱ. デザイン提案条件」に記載されている以下の事項	
	施設建築物の配置(配置及び高さ)
	土地利用構成
	施設構成
	スタジアムへのアクセス
	公園の再配置及び公開空地の確保
	緑化・環境配慮・防災対策
	法規(建築基準法(特に避難の観点)、消防法等)に関すること

※技術調査員は担当する確認事項以外にも、必要に応じて他の確認事項についても所見を付すことができる。

1次審査、2次審査の進め方(案)

予備審査

- 審査員が個々に提出された全ての作品を確認し、推薦する作品を仮選定する(推薦する作品数は制限しない)。
→別紙1「仮推薦作品記入表」に記入

- ・推薦作品にマグネット等(委員毎に色分け)を付す
- ・仮推薦結果を集計

日時:9月26日～10月12日
9:00～17:00

※技術調査と並行して実施
場所:ベルサール渋谷ガーデン

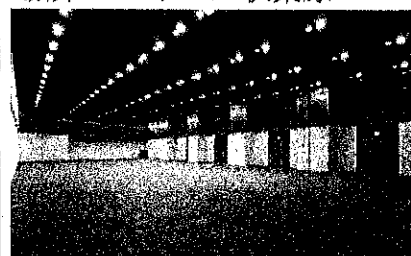


1次審査

1. 各審査委員の推薦作品や技術調査の結果等を参考に、推薦する作品を再確認する(仮推薦作品の変更も可)。
【1時間程度】 →別紙2「審査委員仮推薦作品一覧」
別紙3「仮推薦数上位作品一覧」参照

日時:10月16日(火)
13:00～17:00

場所:ベルサール秋葉原



2. 審査委員の間で協議し、推薦数が上位の作品及び審査委員が強く推薦する作品の中から、2次審査に進む10作品程度を選定する。
【3時間程度】

- ・1次審査で選定された作品(10作品程度)の資料を審査委員(外国人審査委員を含む)に送付

事前評価

- 1次審査で選定された10作品程度のうち、各審査委員が順位付け(1位～3位)を行い、上位3作品について評価(A・B・C・D)及びコメントを記載する。
→別紙4「評価結果記入表」に記入

1次審査後～2次審査前
各審査委員が個別に評価

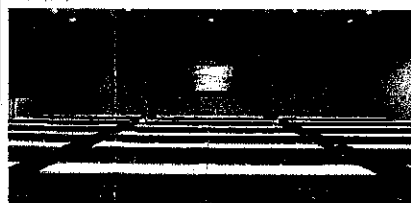
- ・評価結果を集計

2次審査

- 各審査委員の評価・順位付けを参考に審査委員間で協議し、最終順位を決定する。
→別紙5「審査委員評価結果一覧」
別紙6「作品別評価結果一覧」参照

日時:11月7日(水)
13:00～17:00

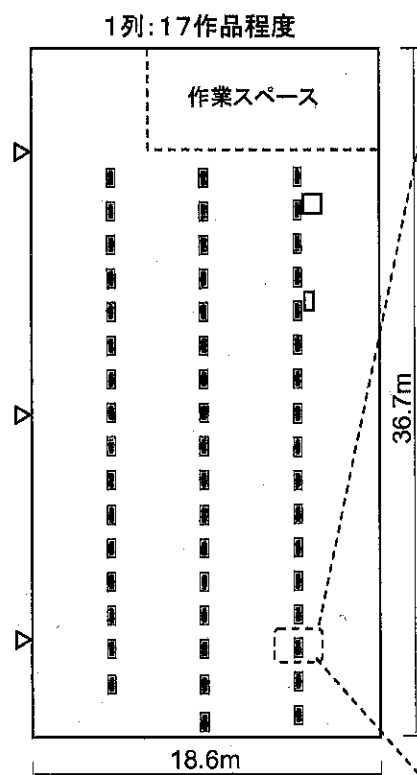
場所:TEPIA



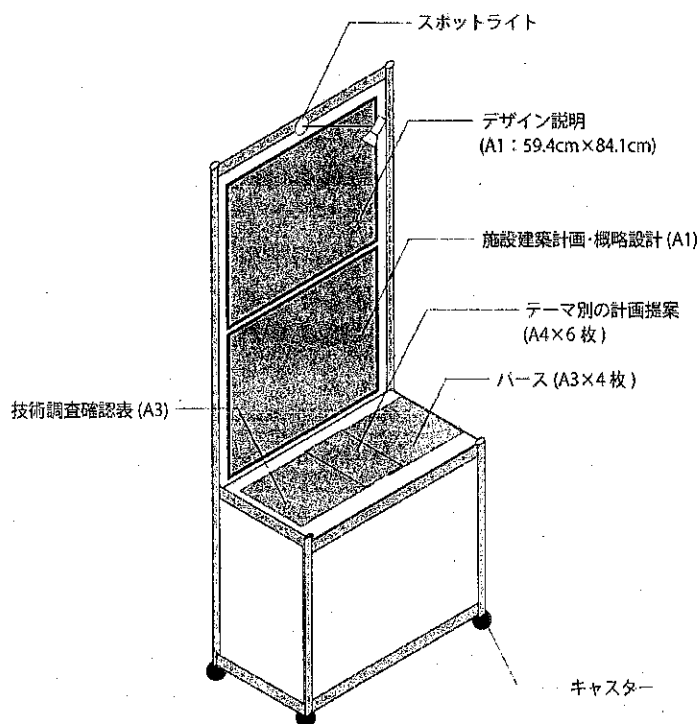
(参考)

◆会場内の配置イメージ(50作品を想定)

■予備審査

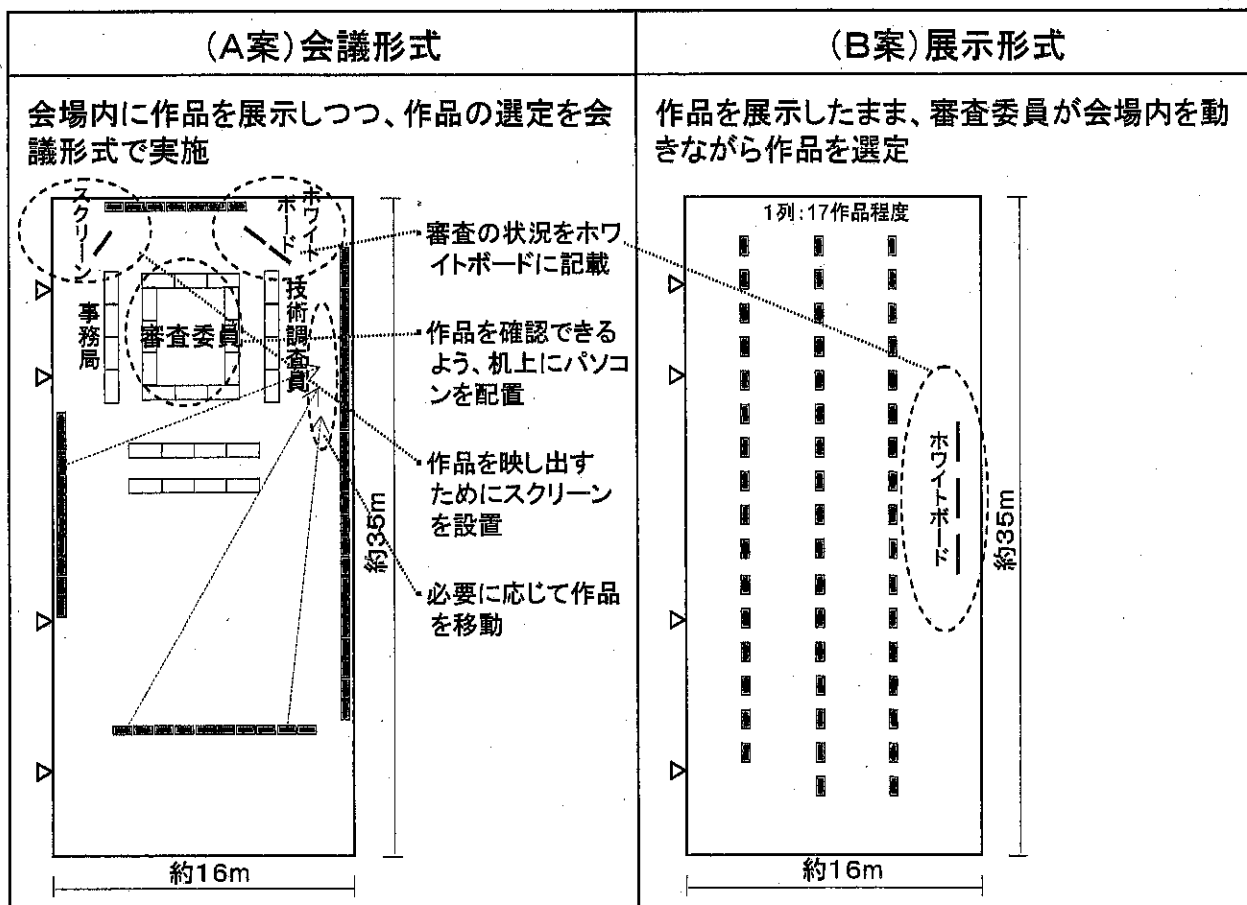


<作品の展示イメージ>



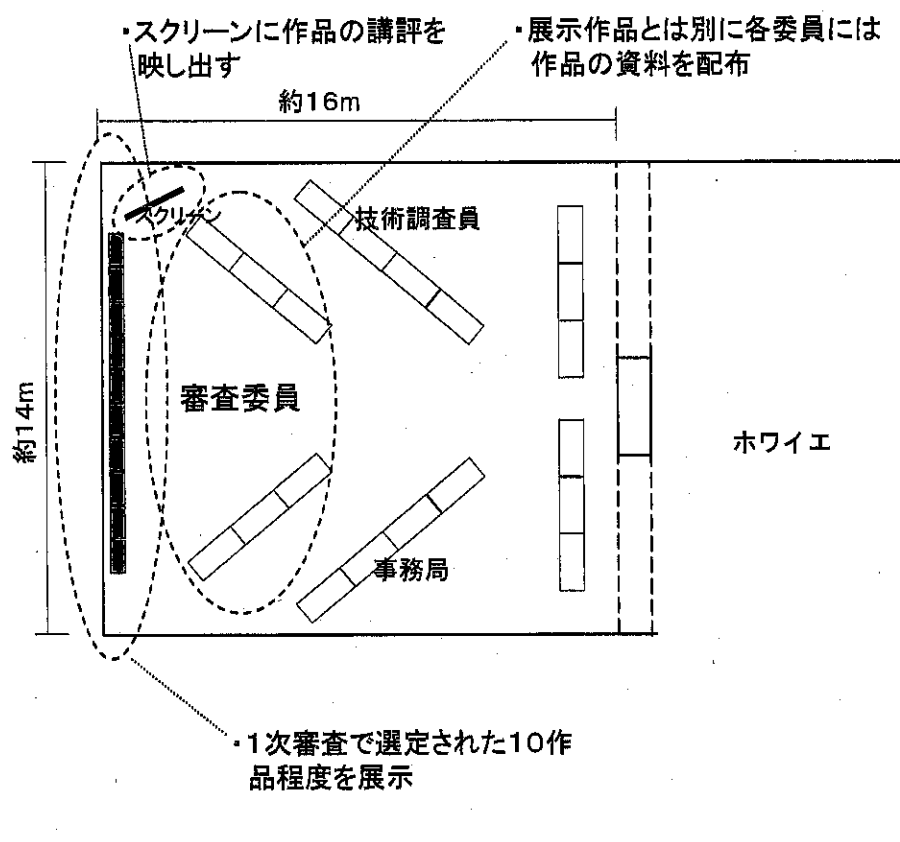
高さ:2150mm× 巾:1030mm× 奥行:535mm
(展示台の高さ:800mm)

■1次審査



◆会場内の配置イメージ(10作品を想定)

■2次審査



〇〇委員

仮推薦作品記入表

- ・ 推薦する作品の著作者登録番号及び推薦理由を記載してください。
- ・ 推薦する作品の数に制限はございません。（推薦数が10を超える場合は枠外に記載してください。）

	著作者登録番号	コメント等
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

審査委員仮推薦作品一覧

・9月26日～10月12日に実施した予備審査における、各審査委員の推薦作品の仮選定の結果は以下のとおり。（推薦作品の変更により順位が変更になる場合がある）

[illegible]

〇〇委員

評価結果記入表【評価 1 位作品】

著作者登録番号

応募者名

- ・1次審査で選定した10作品のうち、評価が1位の作品について、以下の4つの観点について、A～D(Aを最高評価とする)で評価し、評価すべきポイント等がございましたらコメントを記入してください。

審査の観点	評価	コメント(任意)
未来を示すデザイン	(A・B・C・D)	
スポーツ・イベントの際の実現性	(A・B・C・D)	
技術的チャレンジ	(A・B・C・D)	
実現性	(A・B・C・D)	

その他コメント (評価すべきポイント等)	
-------------------------	--

〇〇委員

評価結果記入表【評価2位作品】

著作者登録番号

応募者名

- ・1次審査で選定した10作品のうち、評価が2位の作品について、以下の4つの観点について、A～D(Aを最高評価とする)で評価し、評価すべきポイント等がございましたらコメントを記入してください。

審査の観点	評価	コメント(任意)
未来を示すデザイン	(A・B・C・D)	
スポーツ・イベントの際の実現性	(A・B・C・D)	
技術的チャレンジ	(A・B・C・D)	
実現性	(A・B・C・D)	
その他コメント (評価すべきポイント等)		

〇〇委員

評価結果記入表【評価3位作品】

著作者登録番号

応募者名

- ・1次審査で選定した10作品のうち、評価が3位の作品について、以下の4つの観点について、A～D(Aを最高評価とする)で評価し、評価すべきポイント等がございましたらコメントを記入してください。

審査の観点	評価	コメント(任意)
未来を示すデザイン	(A・B・C・D)	
スポーツ・イベントの際の実現性	(A・B・C・D)	
技術的チャレンジ	(A・B・C・D)	
実現性	(A・B・C・D)	

その他コメント (評価すべきポイント等)	
-------------------------	--

審査委員評価結果一覧

		1位	2位	3位
				
				
				
				
				
				
				
				
				
				

作品別評価結果一覧

著作者登録番号:A1234

応募者名:〇〇〇〇

	未来を示すデザイン	スポーツ・イベント の際の実現性	技術的チャレンジ	実現性	順位 (1~3位のみ)
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					

著作者登録番号:B5678

応募者名:□□□□

	未来を示すデザイン	スポーツ・イベント の際の実現性	技術的チャレンジ	実現性	順位 (1~3位のみ)
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					
■■■■					

新国立競技場基本構想国際デザイン競技
質疑回答について（案）

1. 主な質疑について

1) 応募資格について

- ①受賞経験の実績について
 - ・対象となる賞についての見直しについて（広く応募者を募るべき）
- ②設計の実績について
 - ・対象となる競技の確認について
 - ・設計の実績の条件について
- ③他の団体との連名、若しくはJVでの参加について
 - ・JVでの参加の可否について
 - ・JVの場合の応募資格について

2) 規模等について

- ①面積・施設機能について
 - ・詳細な面積の提示について
 - ・諸室の種類、規模の提示について
 - ・ラグビーのピッチと陸上競技のトラックの寸法について
- ②開閉式屋根について
 - ・開口面積の規定の有無について
 - ・屋根に求める機能について
- ③観覧席について
 - ・8万人以上の提案の可否について
 - ・仮設席や取り外しの提案の可否について

3) 既存のスタジアムについて

- ①改修や増築の提案について

4) 完成時の状態について

- ①完成時の状態について（ラグビー・ワールドカップ用で完成か）

5) 関連敷地等について

- ①公園の条件について
 - ・配置場所の条件について
 - ・機能、仕様の条件について
- ②公開空地の条件について
 - ・人工地盤下に設置できる条件について
- ③計画敷地北側道路上空の提案について
 - ・人工地盤を設けてもよい範囲について
- ④道路の廃止について
 - ・廃止する道路の確認について
 - ・付け替え等の有無について

6) 施設データの提示について

- ①既存施設のCADデータについて
- ②既存施設の使用状況について

2. その他

1) 質疑の対象外

- ・デザインビルドの採用について

2012年8月〇日

回 答 書 (案)

応募者各位

独立行政法人日本スポーツ振興センター

理 事 長 河 野 一 郎
(公 印 省 略)

件名:新国立競技場基本構想国際デザイン競技

標記件名の質問について、以下のとおり回答します。

No.	質問事項	回答	回答日
1	メッセージには、「広く世界に、アイデアを募りたい」と記載があるが、募集要項に記載の受賞歴及び設計の実績は厳しい条件であり一部の者しか応募ができない。応募資格を再考することはできないか。	応募者に求める実績については、デザイン提案条件の難易度、応募作品の提出期間や審査期間、最優秀者には設計・施工段階におけるデザイン監修を委託することになること等の諸事情を踏まえ、主催者及び審査委員会が必要と考えた条件としております。 なお、スタジアム完成までのプロセスをできる限り、オープンな形で進めて参りたいと考えています。 そのため、本デザイン競技の一次審査終了後に最優秀候補作品（二次審査対象作品）を公開するなど、審査過程を広く公表していくことに努め、スタジアムを創造する過程において、皆様にご理解を頂けるように取り組んで参ります。	2012/8/9
2	募集要項7.1. (3) ①に記載されている5つの建築賞以外の受賞歴での参加は可能か。	応募者に求める実績については、デザイン提案条件の難易度、応募作品の提出期間や審査期間、最優秀者には設計・施工段階におけるデザイン監修を委託することになること等の諸事情を踏まえ、主催者及び審査委員会が必要と考えた条件としているため、不可とします。	2012/8/9
3	募集要項7.1 (3) ②に記載されている収容定員1.5万人以上のスタジアムの基本設計又は実施設計の実績とは、設計中の案件でもよいのか、設計は終了し工事中の案件でもよいのか、設計・工事も終了し引き渡し完了している案件となるのか。	基本設計又は実施設計の実績とは、基本設計又は実施設計が完了しているものに限ります。	2012/8/9
4	募集要項7.1. (3) ②に記載されている収容定員1.5万人以上のスタジアムには、ラグビー、サッカー、陸上競技以外の競技施設でも実績となるのか。	実績として認めます。	2012/8/9

5	一つの建物内に複数のアリーナがある場合に収容定員は、合計が1.5万人以上であればよいか。	一つの建築物と判断されれば認めるものとします。ただし、収容定員の合計にできるものは、競技を観覧するためのものに限りします。	2012/8/9
6	他の設計事務所とJ V (Joint Venture) で参加することは可能か。	他の団体との連名で、あるいは他の団体とJ Vを組成して応募することも可能とします。 ただし、募集要項7. 1 (1) から(3)に掲げる条件は、次のように適用します。 【連名及びJV組成の応募条件】 ・募集要項7. 1 (1) の条件については、連名で応募する全ての団体 (J Vの場合にはJ Vを組成する全ての団体) が充足することを条件とする。 ・募集要項7. 1 (2) 及び(3) の条件については、連名で応募する団体 (J Vの場合にはJ Vを組成する団体) の代表者若しくは構成員のいずれかが充足すれば足りることとする。 共同 (連名又はJ V組成) で応募する場合は、回答書別紙の様式記載事項を参考に様式1及び様式2を作成し、必要書類を添付の上、提出してください。なお、確認書 (案) は別紙のとおりとします。 また、共同 (連名又はJ V組成) で応募した作品が最優秀作品となった場合は、デザイン監修を行っていただくことに鑑み、別途「共同企業協定書」を締結いただく予定です。	2012/8/9
7	募集要項7. 1 (3) において定められている応募資格について、①受賞経験、②設計実績のうち、いずれかの条件を満たせばよいのか。あるいは、①、②の両方の条件を満たす必要があるのか。	募集要項7. 1 (3) については、①受賞経験、又は②設計実績のいずれかを有していれば、当該応募資格に係る実績として認めます。	2012/8/13
8	登録申込書、応募資格確認申請書等が事務局に受理された連絡はいただけるのか。	登録申込書及び応募資格確認申請書については、メール受信したことを確認する登録受付メールをお送りしております。	2012/8/20

9	応募資格確認申請書（様式2）の記1、2及び4に記載されている資格、実績の証明する書類の写しは、英語又は日本語に翻訳する必要があるか。 また、翻訳する場合は日本大使館指定の翻訳者などの公式翻訳者に依頼する必要があるのか。	応募資格確認申請書（様式2）記1、2及び4に記載の資格及び実績を証明する資格については、募集要項5.「使用言語」記載の言語（日本語又は英語）に翻訳する必要はありませんが、同申請書（様式2）記3に記載する書面は、日本語又は英語のいずれかでご作成ください。 翻訳は、公式翻訳者に依頼する必要はありませんが、募集要項5.「使用言語」に記載のとおり、読みやすさに配慮した文章としてください。 また、判読不能な場合は、応募作品を受け付けません。	2012/8/20
10	応募資格確認申請書（様式2）の記4に記載されている基本設計又は実施設計の実績の証明について、契約書以外でも、業務を完了したことを証明できる書類であればよい。	ご理解のとおり、契約書以外の書類でも結構です。	2012/8/20
11	応募資格確認申請書（様式2）の記1、2に記載されている外国においての資格を証明する書類は、どのような資格が必要か。	応募資格確認申請書（様式2）記1及び2に記載のとおり、「外国においては、デザイン競技の対象となる建築物の設計監理業務を行う資格を有する企業（者）」を証明できる、第三者機関等が発行した登録証等の写しをご提出ください。	2012/8/20
12	応募資格確認申請書（様式2）の記3に記載されている受賞歴又は設計実績をA4判用紙2枚以内に記載した書面とは、応募者が作成した書類で様式は自由と考えてよい。	書類の様式は自由としていますが、応募資格確認申請書（様式2）記3に記載のとおり、日本語で2,000字以内、英語で1,000語以内にてご作成ください。	2012/8/20
13	募集要項20.（1）、（2）に記載されているデザイン監修について、賞金とは別に報酬等を含めた業務契約が締結されると理解してよい。	ご理解のとおりです。	2012/8/20
14	新国立競技場施設構成プログラムの大きな面積割当は募集要項に記載されているが、さらに詳細な面積プログラムは決められているのか。	現在、詳細な面積までは、決定していません。 今後、改めて行う基本設計において、決定する予定です。	2012/8/20
15	8万人以上のキャパシティを想定して設計することは可能か。	デザイン提案条件は、オリンピック・パラリンピック競技を想定し、陸上競技で使用する場合に8万人の観覧席を設けることを求めています。 また、それに加えてラグビー、サッカーで使用する場合に、臨場感あふれる観覧席を求めています。 上記のとおり、8万人を大きく上回るキャパシティの提案は求めています。	2012/8/20

16	既存のスタジアムは取り壊して建て替えることを想定しているのか。既存の建物をリノベーションする可能性はあるのか。	デザイン提案条件は、既存のスタジアムを取り壊して立て替えることを前提にしています。 既存の建物をリノベーションすることは求めています。	2012/8/20
23	新国立競技場基本構想国際デザイン競技応募資格確認申請書についてお聞きします。 1) 当申請書は、本競技登録申込書といっしょに電子メールするのでしょうか。又は単独で電子メールするのでしょうか。 この場合、資格申請書の提出期限は、何時まででしょうか。 2) 応募者資格の可否は、何時どの様に連絡があるのでしょうか。	1) 募集要項Ⅰ 1. 登録方法 2) 取りまとめ回答No.8	
24	陸上競技、サッカー、ラグビーの競技場使用において、屋外陸上競技場として公認されるための開閉屋根の開口面積の大きさに規定があるのでしょうか。その規模を明示下さい。	開閉式屋根の開口面積に関する規定はありません。 開閉式屋根については、募集要項Ⅱデザイン提案条件を踏まえた提案を求めます。	
25	要項7. 応募者資格7. 1 (3) ②における基本設計又は実施設計の実績には、設計コンペ応募作品も対象となりますか。	取りまとめ回答No.3	
26	登録申し込み書、応募資格確認申請書も和文に英語も付加しなければなりませんか。	取りまとめ回答No.9	
27	観客席数、オリンピック/パラリンピック用 80,000 席とありますが、全て固定席の要求ですか。サッカー、ラグビーも含めて固定席を 60,000 席くらいで、20,000 席は仮設席でもいいですか。	デザイン提案条件は、オリンピック・パラリンピック競技を想定し、陸上競技で使用する場合に 8 万人の観覧席を設けることを求めています。 また、それに加えてラグビー、サッカーで使用する場合に、臨場感あふれる観覧席を求めています。 観覧席の仕様は、応募者に提案を求める範囲とします。8 万席については、仮設でもかまいませんが、固定の 1 人掛けとします。	
28	使用語は日本語又は英語とありますが、日本人の応募者でも英語だけでよろしいでしょうか。	よろしいです。	
29	要項「まきがき」に関して： 「(現) 国立競技場を改築し」という表現がなされていますが、全体の内容から察するに、ここで提案されるべきスタジアムは新築されることが前提と考えられていると受け取ってよろしいですか。	デザイン提案条件は、既存のスタジアムを取り壊して立て替えることを前提にしています。	
30	要項 3.2 に関して： 「施設構成リスト (表 1)」に記された「練習用走路」は、100m の直線レーンを設置することで十分でしょうか。	問題ありません。	

31	要項 3.4 に関して： 求められている「公園」とは、具体的にどの様な内容を指していますか。	公園の機能を含めて、提案を求めています。	
32	要綱 3.4 に関して： 各区内に設けなければならない渋谷区内の「公園」の面積 12,000 m ² は、図 4 に示された範囲内に本当に設置せねばならないのでしょうか。	スタジアムの配置及び形状の提案に影響されますが、渋谷区分の再配置の場所は、図 4 に示す範囲となります。	
33	要綱 4.1 に関して： 関連敷地内の人工地盤や道路上の高架などにかかる工事費は総工事費の中に含まれますか。	スタジアムの施設建築敷地以外の工事費は含みません。	
34	参考資料「地質柱状図」に関して： 現競技場トラック・フィールド付近の地質柱状図はありますか。	提示できる資料はありません。	
35	図 3～5 に記された参考配置では南北を長辺とした配置となっているが、東西を長辺としてもよいのか。	デザイン提案条件として、大規模な国際競技大会の開催が実現できるスタジアムを求めています。 国際陸上競技連盟の規定「IAAF TRACK AND FIELD FACILITIES MANUAL 2008」では、競技場は南北方向の軸に沿って位置するべきとされています。	
36	作品について、パースペクティブ A3 用紙 4 枚、計画提案 A4 用紙 6 枚、および A1 用紙 2 枚（図面およびダイアグラム 1 枚、パースペクティブおよびその説明文等、場合により断面図・立面図 1 枚）と理解しましたが、それ以上の枚数での提出は可能でしょうか？ また、A1 用紙上のパースペクティブのサイズは A3 にかざるのでしょうか？	作品は、指定した枚数で提出する必要があります。 募集要項 10.1(1)②で求めるデザイン説明のパースのサイズは、任意とします。	
37	図面の縮尺について、指定の縮尺以上（たとえば 1：1000）での提出は可能でしょうか？	指定された縮尺以外は、認められません。	
38	この設計競技では、既存の国立競技場は保存／改修の必要はなく、すべて取り壊しの上、新たな競技場を建てることを前提にしていると理解してよいのでしょうか？	デザイン提案条件は、既存のスタジアムを取り壊して立て替えることを前提にしています。	
39	「8万人規模の観覧席」とありますが、具体的には何席の想定が必要でしょうか？ また内訳はどのようになっていますか？ メディアならびに VIP の席は 8 万席に含まれているのでしょうか？ 含まれている場合、放送席、メディア席および VIP・VVIP 席それぞれの想定数を教えてください。	募集要項 3.2 表 1 新国立競技場の施設構成（導入機能と規模）の観覧機能に示すとおりです。 放送席、メディア席、VIP・VVIP 席の席数は、定めていません。 デザイン競技の最優秀作品を元に基本設計で決定する予定です。	
40	観覧席について、想定されている一般席、VIP 席など、それぞれの席のカテゴリーごとのサイズ（幅および奥行き）また、肘掛の有無を教えてください。	観覧席の仕様は、応募者に提案を求める範囲とします。 デザイン競技の最優秀作品を元に基本設計で決定する予定です。	

41	ヨーロッパや FIFA などの競技場設計で通常要求される、観客席から視界（サイトライン、観客の視線）のクオリティー評価に使用される C-VALUE の値はいくつですか？ $C=N(D+R)/D+T-R$ 、D: ある観客席から競技面までの水平距離、N: 観客席の段差、R: 観客席から競技面までの垂直距離、T: 観客席の奥行き	観覧席から観やすさについては、募集要項Ⅱデザイン提案条件を踏まえた提案を求めています。	
42	国際陸上競技用のトラック内にラグビーフィールドを配地すると、最大のフィールドは入りません。想定されているラグビーフィールドの寸法はいくつでしょうか。	ラグビー・ワールドカップでは、長さ 130m 以内（100m＋両インゴール 15m）、幅 80m 以内（70m＋両緩衝部分 5m）程度が求められます。 陸上競技のトラックとラグビー、サッカーのピッチサイズは、デザイン競技の最優秀作品を元に基本設計で決定する予定です。 なお、ラグビー、サッカー、陸上競技が開催できるスタジアムを求めており、ラグビーの場合については、両インゴールを含めると、より広い芝生面積が必要であり、そのための方策、技術等も併せて提案を求めています。	
43	駐車場の想定内訳を教えてください。特に設計のために想定すべき中継車の数を教えてください。	最多で 12 台程度を見込んでいます。	
44	ラグビー・ワールドカップおよびオリンピック開催時の特設（臨時）メディアセンター等は、本競技場内に設置されるのでしょうか？その場合、サービス用の車路が通常のものより大きくなると考えますが、そのような想定は必要でしょうか。	設置する可能性があります。 サービス用の車路の考え方を含めて、提案を求めています。	
45	開閉式屋根の必要最小開口サイズを教えてください。 また、開閉式の屋根を支える架構より下部に設けることは可能でしょうか？	開閉式屋根の開口面積に関する規定はありません。 開閉式屋根の設置位置については、募集要項Ⅱデザイン提案条件を踏まえた提案を求めます。	

46	以下の情報の応募者への配布は可能でしょうか？ ① 既存の国立競技場の図面 ② 「2.2 施設建築物の配置」における配置・高さの制限に関する情報のデジタルデータ（画像データではなく DWG または DXF のデータ） ③ 東京体育館と付属施設および周辺（外溝）の情報（高さおよび図面） ④ JR 千駄ヶ谷、信濃町両駅のアクセス可能な高さの情報、都営大江戸線国立競技場駅の地下道および地上出入り口の位置、および可能であれば駅の図面（もしくは概略図）	① ※確認中 ② 募集要項 9.（2）参考資料（敷地図 CAD DATA (DXF)）にスタジアムの配置及び高さに関する制限を加えたものを提示します。 ③ ※確認中 ④ ※確認中	
47	応募者の実績は前職の実績でよろしいか	※確認中	
48	実績の中に収容定員 1.5 万人以上のスタジアムとあるが 1.8 万人収容の競輪場（BCS 賞）は実績となるか	実績として認めます。	
49	【対象】 募集要項 I. 応募条件 7. 応募者 7. 1（3）② 【質問事項】 「スタジアム（ラグビー、サッカー又は陸上競技等）」という部分に関し、アメリカンフットボール、野球、競輪、競馬、競艇、水泳、ホッケー、アイスホッケーにつきまして、これに含まれるかどうか、具体的にご教示ください。	実績として認めます。	
50	【対象】 募集要項 I. 応募条件 20. デザイン監修、設計及び工事との関連（4） 【質問事項】 「最優秀者と資本・人事面等において関連を有する建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）による建設業者及びその関連会社は、工事の入札に参加することができない。」という部分につきまして、「資本・人事面等において関連を有する」の内容を明確にお示しください。	※確認中	

51	【対象】 募集要項 I. 応募条件 20. デザイン監修、設計及び工事との関連（4） 【質問事項】 デザイン監修者に選定された場合、「最優秀者と資本・人事面等において関連を有する建設業法（昭和24年法律第100号）による建設業者及びその関連会社は、工事の入札に参加することができない。」とされていますが、これは、質の高い建物を世に提供する上で望ましいことではなく、適切な設計・工事監理体制をとることで、デザイン監修者と資本・人事面等において関連を有する建設会社が施工に携わっても支障はないのではないのでしょうか。 質問の詳細説明： 資格と実績を有する設計者を対象に広く門戸を開いて提案を募るという趣旨、また、広く叡智を募るという趣旨に対し、工事に参加する意欲を持つ建設業者が、関連を有する設計者に参加を控えるよう指示せざるを得ないような条件を付することは、望ましくないのではないのでしょうか。	※確認中	
52	【対象】 募集要項 I. 応募条件 20. デザイン監修、設計及び工事との関連（3） 【質問事項】 「基本設計及び実施設計の設計者は、今後、改めて公募型プロポーザルを行い選定する」とされていますが、これに選定された場合、選定された者と資本・人事面等において関連を有する建設業者及びその関連会社であっても、工事の入札に参加することができると考えてよいのでしょうか。	※確認中	

53	【対象】 募集要項 I. 応募条件 20. デザイン監修、設計及び工事との関連（3） 【質問事項】 基本設計以降は、設計と施工を一体のチームが担当するいわゆる「デザインビルド方式」など、施工上の技術・ノウハウを設計に早期に反映できる発注方式の採用を検討していただきたいのですが、いかがでしょうか。	※確認中	
54	募集要項 p 6 テーマ⑥事業費及び工期策定にあたり、募集要項 p 21、4-1 に記載の既存建築物の除去費を含む、①から⑥までの内容は含まれないと判断して宜しいでしょうか。	募集要項 4.1 工事費概算に示している総工事費には、①から⑥は含みません。 募集要項 4.2 事業スケジュールには、建物解体期間を含みます。	
55	既存スタンドの配置、平面、立面、断面図を含む図面をご提示頂けませんでしょうか。	※検討中	
56	外構部分の事業費算出にあたり、敷地内のインフラ切り回しは含まれると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	
57	都営大江戸線、国立競技場前駅及び付近のトンネルに関する図面資料がありましたらご提示お願いします。	※検討中	
58	スタジアム屋根下空間を公園面積として算入することは可能でしょうか。	算入することはできません。	
59	募集要項 p 16 表 1 に記載の施設構成に機能を追加し、提示された延床面積を上回る案を提示することは可能でしょうか。	提示した必要面積を大きく上回る提案は求めています。	
60	募集要項 p 17 表 1 スポーツ関連商業の具体的イメージをご提示下さい。	現段階では決定しているものではありませんが、例としては、スポーツメーカの店舗、スポーツバー等が考えられます。	
61	スタジアムで、想定される陸上・サッカー・ラグビー・イベント等の開催頻度とその割合をご教示頂くことは可能でしょうか。	新国立競技場の年間想定イベント等での使用頻度は、提案条件に定めていないため、提示できません。	
62	現在の国立競技場内の各諸室は、新しい国立競技場内においても計画する必要があるのでしょうか。たとえば、プールや体育館、各種協会等の諸室に関して、現国立競技場と同様の規模、またはそれ以上で計画する必要があるのでしょうか。また、各諸室の細かい面積はどの程度想定されているのでしょうか。	デザイン提案は、募集要項 3.2 新国立競技場の施設構成に示す範囲で行うものとします。 詳細な諸室の設定は、基本設計において決定する予定です。	

63	使用言語に関して、応募者が日本人の場合、英語だけの表記でもよいのでしょうか。	よろしいです。	
64	使用言語に関して、日本語で提出する場合は、必ず、英語版を提出することとありますが、日本語・英語を併記した提出物でよろしいのでしょうか。または、日本語と英語それぞれで提出物を作成すればよろしいのでしょうか。	日本語で提出する場合は、日本語と英語それぞれの作品を提出することを求めています。	
65	求められる各種基準を遵守し天然芝を使用した際、芝の生育環境から使用頻度が限られてくると思いますが、年間どの程度使用することを想定しているのでしょうか。また、国際競技での利用が優先されると思いますが、天然芝を用いないサッカー等の競技での使用を想定しているのでしょうか。	新国立競技場の年間想定イベント日数は、提示できません。 募集要項 3.2【芝生の育成】に配慮することを示している芝生の育成環境を含めて、提案を求めています。 なお、天然芝を使用しないことは想定していません。	
66	募集要項Ⅰ、10. 応募者が提出する図書等10. 1 (1)、スタジアムの外観及び内観パースのA3 版用紙、計4枚は②のデザイン説明、A1 版用紙1枚の中に貼り込むということでしょうか。その場合A1 版はA3 版4枚で紙面一杯になりますので各パースのコンセプト説明はパース画面の中に書き込むことになります、それで良いでしょうか。 そうでない場合は①のパースA3 版4枚はそのまま提出、別に②のA1 版コンセプト説明紙面の中に①のパース4枚を適宜縮小して貼り込み、その隙間にパース説明を入れることになります。どちらで考えればよいのでしょうか。	募集要項 10.1(1)①と②で提出を求めるものは、それぞれ提出する必要があります。 募集要項 10.1(1)②で求めるデザイン説明のパースのサイズは、任意とします。	
67	同上10. 1 (1)、②に「9. (2) に示す応募者が提出する図書のレイアウトイメージは、参考であり、必ずしもこのレイアウトに従う必要はない。」とあり、提示のレイアウトはA1 版、縦使いとなっています。A1 版、横使いでもよいと解釈してよろしいのでしょうか。	9. (2) 応募者が提出する図書のレイアウトイメージは、10.1(1) ②と10.1(2) で求めている図書を縦に並べたものです。 レイアウトは、応募者が決めることができます。	
68	募集要項Ⅱ、2. 1 ② (都道414号) 上空に人工地盤などを設けてよいとありますが、計画対象範囲は (都道414号) のセンターラインまでとなっています。センターラインを超えて道路一杯の人工地盤を提示してもよろしいのでしょうか。	施設建築敷地北側へのアセスルートについて、提案してもよい範囲とします。【別紙〇参照】	
69	募集要項Ⅱ、2. 2 施設建築物の配置に「敷地境界からの壁面の後退距離を8m以上とする。」となっていますが、人工地盤はこの壁面の後退距離8mを超えてもよろしいのでしょうか。	建築物の壁面が規制の対象となります。	

70	募集要項 p 14「関連敷地内に新たに建築物（人工地盤等の工作物を除く）を建築することはできない」とありますが、計画対象敷地内は公園の用途のみの使用になるのでしょうか。	公園の用途のみではありません。 募集要項 3.1②の1)から3)に示す土地利用の提案を求めています。	
71	募集要項 p 15「現国立霞ヶ丘競技場の聖火台等の記念作品や芸術作品の活用を検討すること」とありますが、記念品等の移設は可能と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。	
72	募集要項 p 19「都道 4 1 8 号以西を除く既設の公園（新宿区分：約 22,000 m ² 、渋谷区分：約 12,000 m ² ）と同規模以上の面積を」とありますが、新宿区分の公園面積には道路面積も含まれていますでしょうか。（図側すれば解る可能性があるので当方でも確認中）	道路面積は、含んでいません。	
73	既存国立競技場とその南側の明治公園、日本青年館との間の道路、及び明治公園と日本青年館の間の道路は取り止めとしてよろしいでしょうか。	よろしいです。	
74	人工地盤上に公開空地を設けた場合その公開空地の直下（人工地盤の下）に重複して公開空地を設けることは可能でしょうか。	可能ですが、公開空地としての機能を損なわないことが条件となります。	
75	既存国立競技場とその南側の明治公園、日本青年館との間の既存道路を取止めることは可能でしょうか。 また取止めることが出来ない場合に形状を変更することは可能でしょうか。	取止めることを前提に提案を求めています。	
76	施設建設敷地内の日本青年館、日本スポーツ振興センターなどの既存施設を撤去することは可能でしょうか。	日本青年館及び日本スポーツ振興センターの建物は、解体撤去することを前提に提案を求めています。	
77	取り壊すことになっています日本青年館の機能は、解体後別敷地に移ると考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。	
78	敷地内にあります大江戸線の出入口及び地下構造物は改築できると考えてよろしいでしょうか。	提案することは可能です。ただし、実現できない場合もあります。 デザイン競技の最優秀作品を元に基本設計で決定する予定です。	
79	既存競技場の年間光熱水費を提示していただけないでしょうか。	※検討中	
80	「Ⅱ. デザイン提案条件 2.1 位置及び規模の計画対象範囲について」の 4 番目に「計画対象範囲北側の（都道 414 号）について人工地盤、高架歩道等を設けることにより、スタジアム来場者等が円滑に往来できるよう提案しても良いとありますが、JR 千駄ヶ谷駅および駅前広場も含めた提案を行うことも可能でしょうか。	施設建築敷地北側へのアセスルートについて、提案してもよい範囲とします。【別紙〇参照】	

81	開閉式の屋根について、求められる面積等の条件があれば教えて下さい。	面積の考え方を含めて、提案を求めています。全閉することを求めます。	
82	公園の再配置について 既設公園面積以上の面積を再配置するに当たり、凡例に示された新宿区分約22,000㎡以上を新宿区分の再配置可能範囲内で、渋谷区分約12,000㎡以上を渋谷区分の再配置可能範囲内で確保すると言うことでしょうか。	そのとおりです。	
83	公開空地の確保にあたり、1箇所の空地でなければいけないのか、連続して一体性を持つ空間の考え方でも良いのかについてお聞かせ下さい。	公開空地の確保の考え方を含めて、提案を求めています。	
84	軟式野球場や第二野球場を繋ぐ競技者の円滑なアクセスの提案は地上、地下を問わず自由に提案してよろしいですか。	よろしいです。	
85	道路都道414、418号、区道43-690上空に人工地盤や高架歩道を架けてもよいとのことですが、そこへのアプローチに関して敷地範囲を超えて自由に提案してよろしいですか。	都道414号は、施設建築敷地北側へのアクセスルートについて、提案してもよい範囲とします。【別紙〇参照】 都道418号、区道43-690は、募集要項図1に示す施設建築敷地と関連敷地の間を提案の範囲としています。	
86	都道414号は絵画館横まで繋がっていますが、その範囲も人工地盤、高架歩道等を架けてもよろしいですか。	都道414号は、施設建築敷地北側へのアクセスルートについて、提案してもよい範囲とします。【別紙〇参照】	
87	「天候に影響されない利活用を実現」とは、雨風をしのげる豊田スタジアムのような空間、または福岡ドームのような密閉空間のどちらを想定されておりますか。	開閉式の屋根を提案の条件としていますが、本スタジアムは、コンサート等の利用も考えているため、これらを含め、屋根の考え方の提案を求めています。	
88	開閉式の屋根と記載がありますが、芝生の育成に配慮すれば閉鎖された屋根を提案することも可能でしょうか。	開閉式の屋根を提案の条件としています。	
89	スポーツ利用の8万人規模の観覧席とは、必ずしも恒設ではなく仮設席でもよろしいですか。(音楽等イベント時は、フィールドレベルを含めて想定)	デザイン提案条件は、オリンピック・パラリンピック競技を想定し、陸上競技で使用する場合に8万人の観覧席を設けることを求めています。 スポーツイベント利用時の観覧席の仕様は、応募者に提案を求める範囲とし、仮設でもかまいませんが、固定の1人掛けとします。 また、それに加えてラグビー、サッカーで使用する場合に、臨場感あふれる観覧席を求めています。	
90	マラソン競技者のピッチへのアクセスは、外周道路から高低差がないようにとのことですが、身障者がアプローチ可能な程度のスロープで下げることは可能ですか。	高低差の処理の考え方を含めて、提案を求めています。	
91	イベント時はフィールド(トラック部やその内側)に観客を入れる想定でしょうか。	そのとおりです。	

92	敷地境界線からの壁面後退距離 8m は地上部のみに適用されると考えてよろしいですか。	地上部の建築物の壁面が対象となります。	
93	事業費として総工事費以外に想定すべき項目があればお示しください。	求める事業費は、工事費のことで	
94	サブトラックに関して、明治神宮外苑軟式野球場を利用することが想定されているが、計画対象範囲内に設けることを想定しないで良いか。	デザイン提案の条件としていません。	
95	既設公園の再配置に関して、人工地盤下に公園を配置しても良いか。	上部が開放されている場合には、認められます。 ただし、公園の環境を含めて、提案を求めています。	※ 東京都 確認中
96	スタジアムの高さ制限に関して、敷地東側の 30m ラインと 25m ラインなどが不明瞭であり、さらに詳細な情報を提供して頂けるのか。【別紙 1 参照】	募集要項 9. (2) 参考資料 (敷地図 CAD DATA (DXF)) にスタジアムの配置及び高さに関する制限を加えたものを提示します。	※作成中
97	新宿区分の既設公園の再配置に関して、計画対象範囲内でスタジアム別紙 2 参照の施設建築敷地外である南側の約 20,000 m ² の関連敷地を全て公園として再配分して良いか。他に計画がある場合はその内容を開示することはできるのか。【別紙 2 参照】	公園の再配置の考え方を含めて、提案を求めています。 デザイン競技の最優秀作品を元に基本設計で決定する予定です。	※東京都 確認中
98	ラグビー、サッカー、陸上、コンサート等の年間想定イベント日数があるのか。	新国立競技場の年間想定イベント日数は、提示できません。	
99	記者席、メディア席の想定はオリンピック等の大規模イベントを想定し、観客席数 8 万を算出して良いか。	よろしいです。	
100	個室形式観戦ボックスの想定数については提案で良いか。	よろしいです。	
101	トレーニングセンターとは、現状の国立競技場の中にあるプール、体育館等を想定して良いのか。	デザイン提案は、募集要項 3.2 新国立競技場の施設構成に示す範囲で行うものとします。 詳細な諸室の設定は、基本設計において決定する予定です。	
102	スポーツ関連商業はスタジアムの管理とは別と考えて良いのか。	現段階では、管理体制については、決定していません。	
103	駐車場の面積に関して提示されていますが、台数に関しての想定はあるのか。	1,000 台を超えない台数を想定しています。 詳細な台数の設定は、基本設計において決定する予定です。	
104	道路の移転について: 区道 43-670 を移転し、他のスタジアム間をつなぐ共有空間とすることはできるか。図添付。	区道 43-670 は、変更できません。	

105	開閉式の屋根を設置する主な理由は何 か: 音響への配慮か、天候状況への配慮 か。音響への配慮の場合、デシベル基準 設定はどうなっているか。	開閉式屋根の設置目的は、音響への 配慮と天候状況への配慮の双方です。 また、デシベル基準は、日本の規則 で次の数値以下となるように定めら れています。 8時～19時: 50 デシベル以下 19時～8時: 45 デシベル以下	
106	観覧席には冷暖房機能が必要か。	観覧席の快適性の考え方を含め、提 案を求めています。	
107	その他、スポーツ以外でのスタジアムの 利活用に関する簡潔な説明はあるか。	デザイン提案は、募集要項 3.2 新国 立競技場の施設構成に示す範囲で行 うものとします。	
108	敷地の地下を通る主要インフラはある か。	ありますが、デザイン提案に当た っては、考慮する必要はありません。	
109	建設現場敷地内の建物はすべて取り壊 されることになるか。	大江戸線国立競技場駅の出入口を 除き、取り壊す予定です。	
110	BREEAM や LEED、CASBEE などの基準適合 すべき環境要件はあるか。	デザインの提案条件としては、定め ていません。	
111	関連施設あるいは周辺駅とつながる既 存の高架橋の中に、保存すべきものはあ るか。ある場合、その高さはどのくらい か。	計画敷地内には、ありません。	
112	既存のスタジアムを改築し、現構造の一 部解体や増築という選択肢もあるか。	デザイン提案は、既存のスタジア ムを取り壊して立て替えることを前 提にしています。	
113	既存スタジアムの CAD 図面は提供される か。	※検討中	
114	隣接用地に関する区域や高さに関する 詳しい情報は提供されるか（これには 駅、主要道路および周辺道路、記念建造 物も含まれる）。	※検討中	
115	対象地域の 3D（立体）モデルはあるか。 募集要項にある、建造物の高さに関する 規制や道路からの後退距離に関する図 は CAD で提供されるか。	建築物の高さに関する規制につい ては、募集要項 9. (2) 参考資料（敷地 図 CAD DATA (DXF)）にスタジアムの配 置及び高さに関する制限を加えたもの を提示します。 その他は、提示できません。	※作成中
116	既存スタジアムのすぐ南、都道 418 号と 区道 43-670 の間にある道路を残し、車 両・歩行者のアクセスができるようにす る必要はあるか。（区道 43-690 すぐ北の 道路。）	必要ありません。 この道路は、取止めることを前提 に提案を求めています。	

117	コンペ参加者は、完成予想3D模型用の指定された写真風景を使用しなければならないか。	提供している航空写真は参考資料です。 募集要項 10.1 (1) ①で求めるパースの視点は、応募者が決めることができます。	
118	A3の完成予想図4枚をA1のボード1枚に印刷することはできるか。この場合、ある図を他の図より大きくすることは相談可能か、それともすべて同じサイズでなければならないか。	募集要項 10.1 (1) ①と②で提出を求めるものは、それぞれ提出する必要があります。 募集要項 10.1 (1) ②で求めるデザイン説明のパースのサイズは、任意とします。	
119	“一次審査”に選ばれるのは何チームか。	10作品程度を予定しています。	※要検討
120	“一次審査”に選ばれたチームはプレゼン用として追加資料を用意することはできるか。	できません。募集要項 10.1 で求めている作品に限ります。	
121	オリンピックスタジアムとしての用途の場合に必要なとされる観覧席数は80,000席と指定されている。ラグビーやサッカー用の場合には、どれくらいの観覧席数が必要か。また、上記数字は総計か、正味数量か確認していただきたい。	デザイン提案条件は、オリンピック・パラリンピック競技を想定し、陸上競技で使用する場合に8万人の観覧席を設けることを求めています。ラグビー、サッカーで使用する場合には、臨場感あふれる観覧席については、考え方や席数を含め、提案を求めています。 ラグビー、サッカーの利用時に8万席を下回ることはないようにしてください。	
122	空中からの眺めにも重きが置かれているが、もっと解像度の高い空中写真を提供してもらおうことはできるか。また、提供された2枚の写真は敷地範囲が完全には写っていない。	※確認中	

123	募集要項 3.1 の②で、「関連敷地内に新たに建築物（人工地盤等の工作物を除く）を建築することはできない。」と記載されている。以下はこの点に関する質問である： ・ 既存の建築物の視界を遮らず、また同エリアの機能を妨げることがなければ、キャノピー構造の屋根を設置することはできるか。 ・ 上記が認められない場合、屋根構造をカンチレバー構造とし、関連施設とつなぐことはできるか。 ・ 上記がどちらも認められる場合、キャノピー構造／オーバーハングの高さ制限はどうなるか。	※確認中	※東京都 確認中
124	建物の一部を地下に埋め込んでも大丈夫な地盤条件か。東京湾平均海面上 24M 未満か。その場合、海面上どのレベルまで掘り起こしが可能か。	募集要項 9. (2) 地質柱状図を参考にして、提案してください。	
125	事業費とプログラムテーマは、ラグビー・ワールドカップ用の条件に基づき、かつ、陸上競技用に転換も可能という条件で提出しなければならないのか。コンペ参加者は、この転換の費用も見積もる必要があるか。定められた総事業費には、スタジアムをラグビー・ワールドカップ用からオリンピック用に転換する費用も含まれるか。	工事が完成した時点で、ラグビー、サッカー、陸上競技が開催できるスタジアムであることを求めています。	
126	質問 6 に対する回答として、「共同提案の提出に関係するグループの代表もしくはメンバーの 1 人が募集要項 7.1(2) と (3) の条件を満たす場合、同提案は有効と見なされる」と記載されている。2 つの企業間での共同提案が認められるのであれば、うち 1 社しか募集要項 7.1(3) の条件を満たさない場合でも、両社の代表が競技のプレゼンテーションに出席できるか。	※確認中	
127	前回の東京国際コンペティション優勝者で、募集要項 7.1(1) と (2) の条件は満たすが同 7.1(3) の条件は満たしていない者は応募できるか。	※確認中	
128	事業費の概算は、現在の価格で計算をするか、それとも 2019 年の予想価格か。	作品の提出時の価格とします。	

129	観覧席 80,000 席はすべて固定か、もしくは一部はオリンピック終了後に取り外し可能とすることができるようにするか。	デザイン提案条件は、オリンピック・パラリンピック競技を想定し、陸上競技で使用する場合に 8 万人の観覧席を設けることを求めています。 スポーツイベント利用時の観覧席の仕様は、取り外しが可能であることを必要条件にしていませんが、応募者に提案を求める範囲とします。	
130	開閉式の屋根を閉じたときの、屋根の被覆率について定められた要件はあるか (最小もしくは最大)。	開閉式屋根の開口面積に関する規定はありませんが、全閉することを求めます。	
131	区道 43-660 を移転することはできるか。	取止めることを前提に提案を求めています。	
132	駅、特に千駄ヶ谷駅、信濃町駅、国立競技場駅の見取図と区域を提供してもらうことはできるか。	※確認中	
133	既存スタジアムに地階はあるか。地階がある場合、地下総容積、地階範囲/限界面積に関する情報を要請することはできるか。	※確認中	
134	図面および文書は、A1、A3、A4 サイズについてそれぞれ縦長、横長の書式指定はあるか。	指定していません。	
135	募集要項 10.1(3)の計画提案は、各テーマ A4 サイズ 1 枚にまとめなければならないのか。枚数制限がない場合、最大で何枚まで認められるか。	募集要項 10.1(3)の計画提案は、各テーマ A4 サイズ 1 枚に限ります。	
136	近隣のその他スポーツ施設の寸法 (高さを含む) を要請することはできるか。これにはメインアリーナ、サブアリーナ、東京体育館屋内プール、明治神宮第二球場、明治神宮野球場、秩父宮ラグビー場が含まれる。	※確認中	

新国立競技場基本構想国際デザイン競技審査委員会設置要綱（案）

（趣旨）

第1条 新国立競技場基本構想国際デザイン競技（以下「デザイン競技」という。）を公平かつ円滑に実施するため、新国立競技場基本構想国際デザイン競技審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置する。

（審議事項等）

第2条 審査委員会においては、次に掲げる事項を審議する。

- （1） デザイン競技の募集要項に関すること。
- （2） デザイン競技の応募作品の審査に関すること。
- （3） その他デザイン競技に必要な事項に関すること。

2 前項に規定する審議事項のほか、新国立競技場基本構想国際デザイン競技募集要項20に規定するデザイン監修について、必要な助言を行うことができるものとする。

（組織）

第3条 審査委員会は、次に掲げる委員で構成する。

- （1） 国立競技場将来構想ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）
施設建築グループ委員5名
- （2） ワーキンググループ施設利活用グループ（スポーツ）委員（座長）1名
- （3） ワーキンググループ施設利活用グループ（文化）委員（座長）1名
- （4） 日本国以外の国籍を有する建築家2名
- （5） 主催者（独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長）1名

2 前項に掲げる委員は、理事長が委嘱する。

3 審査委員会は必要に応じて、その他の外部有識者の協力を求めることができる。

（任期等）

第4条 委員の任期は、新国立競技場が竣工するまでの期間とする。

2 第3条第1項第4号に規定する委員の任期は、デザイン競技の審査が終了するまでの期間とする。

（委員長）

第5条 審査委員会に委員長を置く。

2 委員長は、ワーキンググループ施設建築グループ座長が務めるものとする。

- 3 委員長は、会務を総理し、審査委員会の議長を務めるものとする。
- 4 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 審査委員会は、委員長が招集する。

- 2 審査委員会は、過半数の出席がなければ、会議を開催することができない。
- 3 審査委員会は、委員長が必要と認めるときは、電子メール等の書面にて開催することができるものとする。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(審査結果の報告)

第7条 審査委員会は、審査結果の報告書を作成し、委員全員がこれに署名する。

(守秘義務)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(公開)

第9条 審査委員会は原則として非公開とする。

- 2 会議録及び会議の審議資料は非公開とする。
- 3 その他必要な事項は会議で決定する。

(庶務)

第10条 審査委員会の庶務は、新国立競技場設置準備本部運営調整課において処理する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、審査委員会の運営及び応募作品の審査手続きは、委員長が定める。

附則

- 1 この要綱は、平成24年8月〇〇日から施行する。

国立競技場将来構想公開デザイン競技審査委員会名簿（案）

＜ワーキンググループ施設建築グループ＞

委員長（有識者委員）	安藤 忠雄	東京大学名誉教授
委員（建築計画）	鈴木 博之	青山学院大学教授
委員（都市計画）	岸井 隆幸	日本大学教授
委員（建築計画・景観）	内藤 廣	東京大学名誉教授
委員（環境・建築設備）	安岡 正人	東京大学名誉教授

＜ワーキンググループ施設利活用（スポーツ）グループ＞

委員（有識者委員）	小倉 純二	財団法人日本サッカー協会名誉会長
-----------	-------	------------------

＜ワーキンググループ施設利活用（文化）グループ＞

委員（有識者委員）	都倉 俊一	作曲家 一般社団法人日本音楽著作権協会会長
-----------	-------	-----------------------

＜日本国以外の国籍を有する建築家（2次審査のみ）＞

委員	リチャード・ロジャース
委員	ノーマン・フォスター

＜主催者＞

委員（主催者）	河野 一郎	独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長
---------	-------	-----------------------